

網走川流域における流域対策等
に関する取組ビジョン
【付録】

令和２年２月

「網走川流域における新たな検討の場」

目 次

1. ビジョン【付録】の位置づけと目標.....	1
2. 各流域対策の取組.....	2
2-1 出水時の治水安全度の向上や土砂流出等による被害の軽減（洪水等に関する取組）	4
(1) 【取組 1】治水安全度の確保.....	4
(2) 【取組 2】土砂流出抑制及び農地保全.....	5
(3) 【取組 3】水害リスク情報の周知.....	6
2-2 網走川流域の理解促進（平常時からの取組）.....	7
(1) 【取組 4】防災教育の推進.....	7
(2) 【取組 5】流域学習の推進.....	8
(3) 【取組 6】流域ツーリズムの推進.....	9
2-3 網走川の環境保全の取組を通じた流域関係者の意識向上（環境に関する取組）..	10
(1) 【取組 7】流域の自然環境保全.....	10
(2) 【取組 8】住民が身近にふれあえる場の確保.....	11
(3) 【取組 9】多様な生態系が維持される河川環境の保全や復元.....	12
(4) 【取組 10】河川生態系に関する啓蒙.....	13
(5) 【取組 11】網走湖水環境の改善.....	14

1. ビジョン【付録】の位置づけと目標

本ビジョンの流域対策に関する具体的な取組を付録としてとりまとめたものである。また、本ビジョンは長期にわたることから、気候変動や社会情勢を考慮しつつ、有識者懇談会における意見を踏まえ、具体的な取組の見直しを行うものとする。

なお、本ビジョンの目標は次のとおり。

目標1 出水時の治水安全度の向上や 土砂流出等による被害の軽減（洪水等に関する取組）

近年の洪水の激甚化や計画規模を越える降雨の多発化を踏まえ、河川の氾濫や内水被害の軽減、土砂流出抑制、農地保全等を目的とした取組を進める。

具体的には、河道掘削や堤防整備等のハード整備やピーク流量を抑制する方策の検討、洪水浸水想定区域図の周知等の実効性のあるソフト対策、山地や農地からの土砂流出抑制、農地保全に関する情報共有等に取り組むものである。

目標2 網走川流域の理解促進（平常時からの取組）

網走川流域の豊かな産業や豊富な観光資源の安心・安全の確保に向けて、平常時から流域への理解を促すとともに流域意識を育む取組を進める。

具体的には、流域学習や流域ツーリズムの推進、防災教育等、網走川流域への理解の深化や利用促進等に取り組むものである。

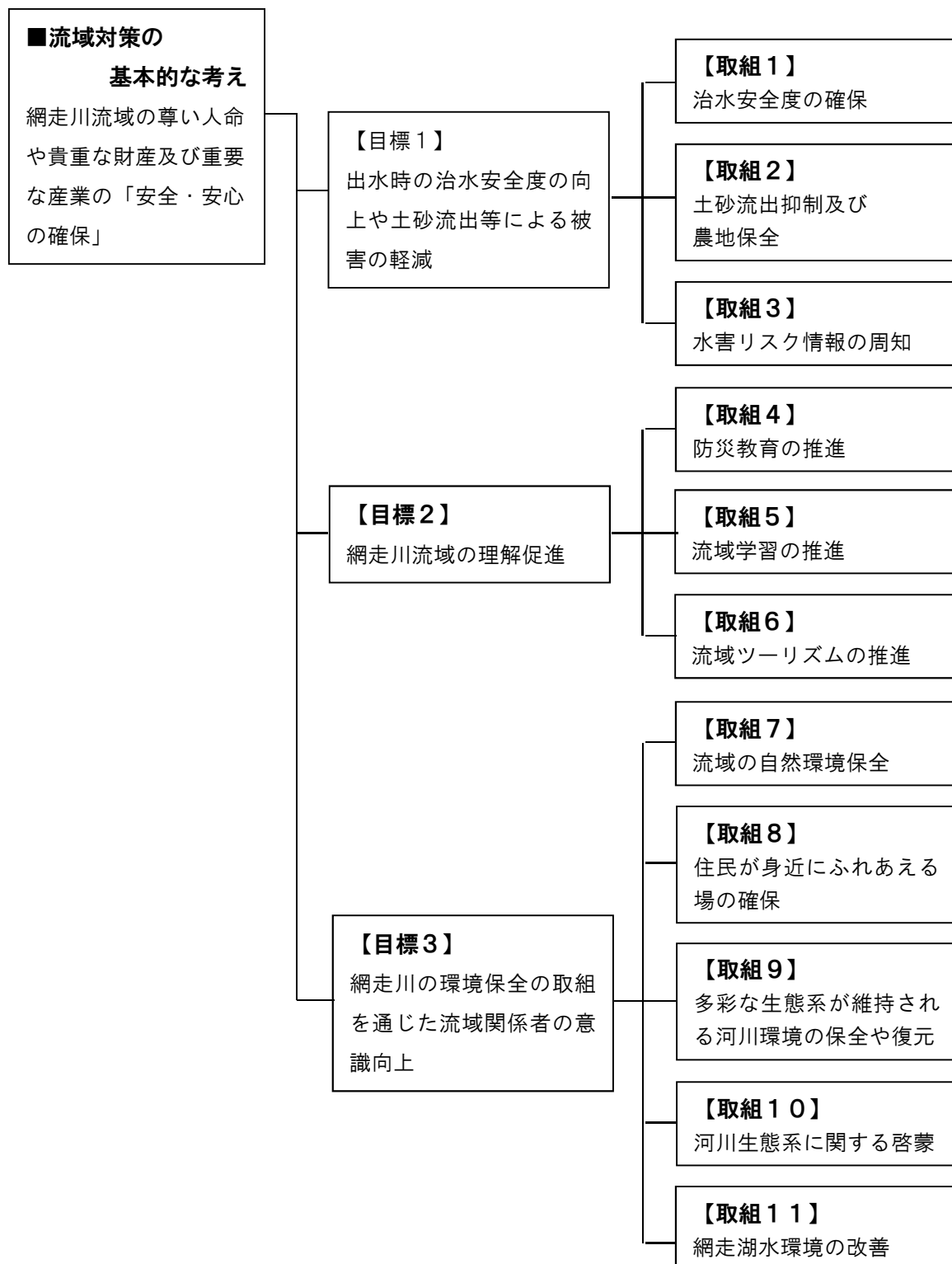
目標3 網走川の環境保全の取組を通じた 流域関係者の意識向上（環境に関する取組）

網走川流域は自然豊かな環境を有している。自然環境や動植物の生態環境の維持・保全等の環境保全を通じた流域対策への意識向上につながる取組を進める。

具体的には、国や自治体、地域の住民等の環境保全等の取組のうち、ソフト対策を中心に取り組むものである。

2. 各流域対策の取組

次の取組体系の取組 1 ～ 11 に関して、具体的な取組について整理した。



網走川流域における流域対策の取組体系

【取組〇】〇〇〇〇

網走川では河川整備の目標流量を安全に流下させる河道断面の確保に向けて整備途上にあるので、大きな出水が発生した場合には外水氾濫によって甚大な被害が発生する可能性がある。

そのため、河道断面の確保のための河道掘削や堤防整備を推進するとともに、伐開等の維持管理を適切に実施する。また、ピーク流量の抑制に関する検討を行うとともに、内水を早期に排除し、内水被害を軽減するための釜場等の整備を推進する。

<取組のイメージ>

治水安全度の確保
ピーク流量の抑制等

取組実施の背景及び取組の方法に関して内容を記載

主な取組目的を記述

具体的取組が視覚的にわかるよう、写真等を用いて事例を提示



河道掘削



ピーク流量の抑制に関する検討



堤防整備



釜場の整備

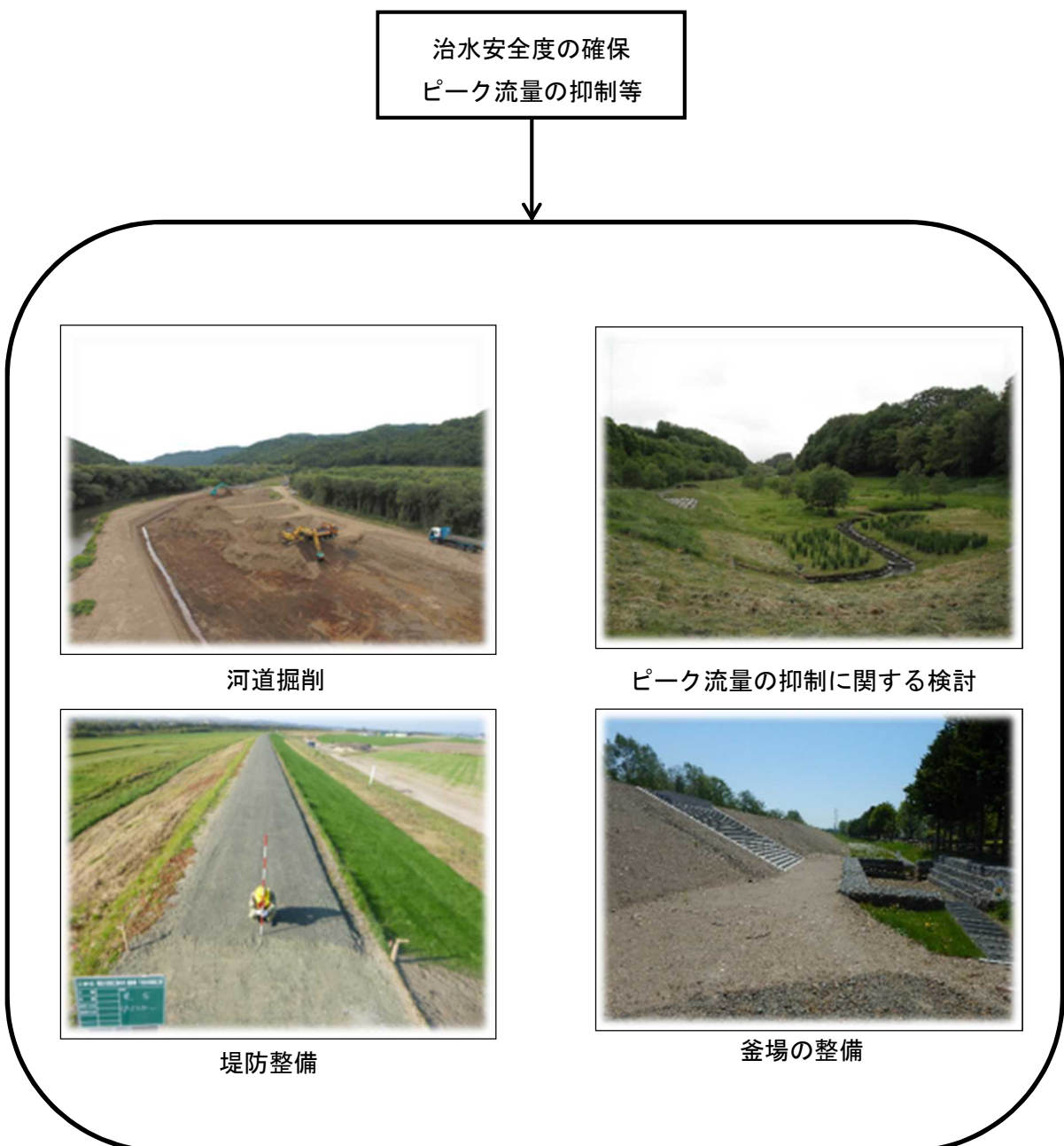
2-1 出水時の治水安全度の向上や土砂流出等による被害の軽減（洪水等に関する取組）

(1) 【取組 1】治水安全度の確保

網走川では河川整備の目標流量を安全に流下させる河道断面の確保に向けて整備途上にあるので、大きな出水が発生した場合には外水氾濫によって甚大な被害が発生する可能性がある。

そのため、河道断面の確保のための河道掘削や堤防整備を推進するとともに、伐開等の維持管理を適切に実施する。また、ピーク流量の抑制に関する検討を行うとともに、内水を早期に排除し、内水被害を軽減するための釜場等の整備を推進する。

<取組のイメージ>



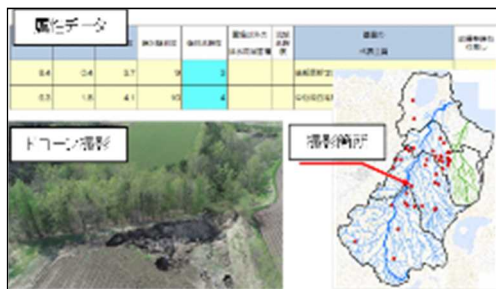
(2) 【取組 2】土砂流出抑制及び農地保全

近年多発している大規模な降雨等により、山地や農地等から土砂が流出し、河道や網走湖に堆積している。また、農地から土砂が流出した場合は、表土、作物及び肥料等の流亡やガリによる営農作業への障害が発生している。

そのため、山地や農地からの土砂流出抑制を目的として、植樹等による地被の緑化や畦畔等による流出抑制を図るとともに、土砂を捕捉するための沈砂池等の整備・維持管理を行う。また、農地保全に向けて、農地の土砂流出箇所予測マップの活用等を推進する。

<取組のイメージ>

土砂流出抑制 農地保全



農地の土砂流出箇所予測マップの活用



沈砂池の整備・維持管理



農地からの土砂流出抑制
(畦畔による土砂流出抑制)



山地からの土砂流出抑制
(植樹による土砂流出抑制)

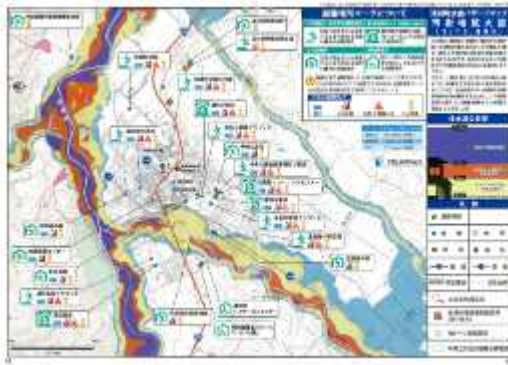
(3) 【取組 3】水害リスク情報の周知

大規模な洪水等が発生した場合でも、住民が迅速に避難し、被害を最小限にできるよう備えを充実させる必要がある。

そのため、水害ハザードマップ等の周知により、水害リスク情報の共有を図る。また、迅速な避難に繋がるよう、各種計画やマニュアル等の整備を進めるとともに、防災訓練等を実施する。

<取組のイメージ>

水害リスク情報の周知



水害ハザードマップの作成及び配布



構成機関との連携及び情報共有



各種計画（マニュアル）等の整備



防災訓練等の実施

2-2 網走川流域の理解促進（平常時からの取組）

(1) 【取組4】防災教育の推進

防災意識の啓発を促し、地域に浸透させるとともに、次世代に受け継いでいくことが重要である。そのため、国や北海道、自治体による出前講座の実施や地域防災マスター等を活用し、防災教育を推進する。

<取組のイメージ>

防災教育の推進



防災教育の実施



防災学習による防災意識の啓発

(2) 【取組5】流域学習の推進

網走川流域における歴史や文化、産業等の見学体験等を通じて、流域の資源や環境等の重要性を理解することによって、流域意識の向上を図ることを目標に、現地体験や出前講座等による流域学習を推進する。

<取組のイメージ>

流域学習の推進



出前講座の実施



網走川流域体験ツアーの実施

(3) 【取組6】流域ツーリズムの推進

地域住民の水辺とのふれあいを促進するため、河川を持つ連続性を活かした川辺の散歩道・緑道やサイクリングロード、福祉に配慮したスロープなどの整備、活用を行うとともに、交流・休憩・イベント活動など川の特徴を生かした多様な機能を持つ川辺の拠点を配置していく。

また、流域全体でのツーリズムを促進し、網走川流域の理解促進につなげる。

<取組のイメージ>

流域ツーリズムの推進



かわまちづくりの推進



かわたび北海道の推進

2-3 網走川の環境保全の取組を通じた流域関係者の意識向上（環境に関する取組）

(1) 【取組 7】流域の自然環境保全

貴重な自然環境を有する網走川流域の保全は流域一体となった発展に向けて欠かすことのできない取組である。そのため、流域の保全に向けて、河川水質等のモニタリングを継続的に実施し、環境の保全に努める。

<取組のイメージ>

流域の自然環境保全



水質のモニタリング調査

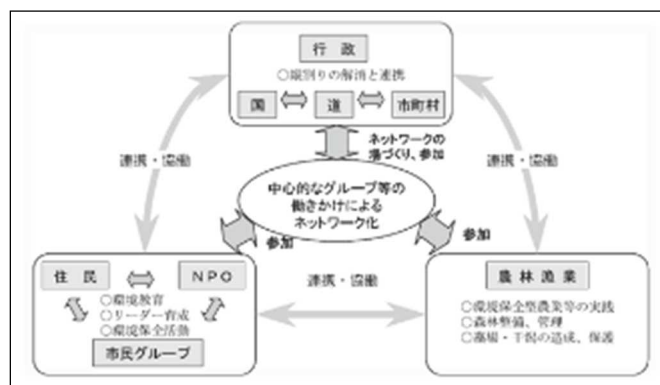
(2) 【取組 8】住民が身近にふれあえる場の確保

流域の自然環境の保全・回復・創出を目指した地域づくりを推進するためには、住民が身近にふれあえる場の確保が重要となる。

そのため、行政と住民等が連携・協働できる流域ネットワークを構築し、自然とふれあえる場の確保に向けて調整を進める。また、流域一斉清掃等、流域を意識することができる取組を継続的に推進する。

<取組のイメージ>

住民が身近に自然とふれあえる場の確保



流域ネットワークの構築（イメージ図）



河川の清掃

(3) 【取組 9】 多様な生態系が維持される河川環境の保全や復元

網走川流域の多様な生態系は豊かな流域の源となっている。この貴重な生態系を維持するために、河川環境等を保全する取組を推進する。

<取組のイメージ>

多様な生態系が維持される河川環境の保全や復元



生態系に配慮した河道整備



計画的な植生・植樹等による保全

(4) 【取組１０】河川生態系に関する啓蒙

網走川流域の豊かな自然環境等を住民等に理解してもらい、将来にわたって維持・保全に努めるよう、環境学習や川の生態調査等を実施する。自然環境の維持・保全にあたっては、現状の把握とともに啓蒙活動を推進する。

<取組のイメージ>

河川生態系に関する啓蒙



地域の子供たちへの環境学習



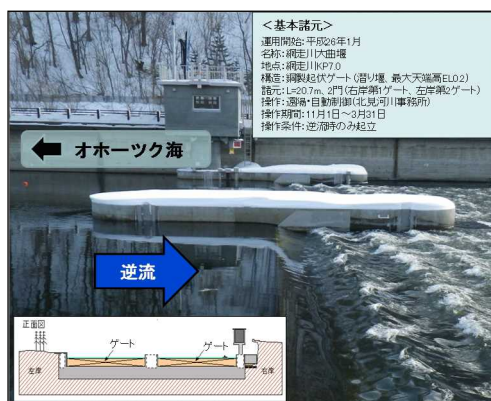
川の生態調査

(5) 【取組 1 1】 網走湖水環境の改善

網走湖は青潮、アオコがかつて頻繁に発生していたことを踏まえ、水環境改善を目標に直接浄化施設の設置や植生による浄化、湖内の水草刈り、網走川大曲堰の運用、底泥対策等を実施し、一定の効果がみられている。しかしながら、網走湖の水環境は汽水湖特有の微妙なバランスの上に成り立っており、海水流入量や降雨などの影響を直接的に受ける。そのため、網走湖の水環境改善に向けて、科学的知見に基づいた大曲堰による塩淡水境界層の制御及び順応的な管理や水環境、生態系に関するモニタリング等を実施する。

<取組のイメージ>

網走湖における水環境改善策



大曲堰の運用による塩淡水境界層の制御



網走湖の水質に関するモニタリングの実施